

第7回将来企画委員会議事録

日時；2011年9月9日、12-13時

場所；茨城大学人文12番教室（出席者；大谷、鍵、河上、塚本、村上）

将来企画委員会は過去3年の間に、年会のあり方、会員増加、Elements参加等々、多方面にわたり、提言をしてきた（過去の議事録は<http://www.soc.nii.ac.jp/jams3/giji.html>）。これらの提言は該当する委員会で議論され、順次実行に移されてしかるべきであるが、一部の提言は放置された状態である。本委員会は、これらの提言の具体化の手順・プロセスについて下記のように実施していくことになった。なお、翌10日の総会で決定した事項は下記から省いた。

（1）年会関連 → 行事委員会へ

1.1 将来企画委員会での議論を活用するため、将来企画委員（河上、平賀）が行事委員会へ参入する（翌10日の評議員会での承認を得た）。

1.2 スペシャルセッション形式（Goldschmidt形式）を増やす。

1.3 会員への公平さと鉱物科学会の独自性を基本として、他学会との同時開催・共催を慎重に検討する。

1.4 年会直前の若手研究者・学生用のレクチャー。2012年ではYMO主催のセミナーに協力することで実現していく。

1.5 セッションに他学会会員を含めた招待講演を積極的に増やす。ただし、学会予算に負担がかからないようにする。

1.6 コンピーナーをできるだけ30代から40代前半の若手にお願いする。

1.7 年会へのアジアからの招聘および英語での特別セッションが望ましい。

（2）会員増加（特に学生会員、若手会員） → 会員幹事、会員特務幹事

2.1 各大学の指導教員に学生の入会勧誘のお願いを引き続き行う。

2.2 シニア会員・学生会員の会費値下げの検討。

（3）国際性と雑誌 → JMPS・GKK編集委員会、Elements委員会（仮名）

3.1 Elementsを利用したJMPSの宣伝、ElementsとGKKの掲載記事の仕分け。これは今後発足するElements委員会（仮名）で検討。

3.2 アジア鉱物科学（例、アジア結晶学会。IMAの中間年に1回開催）の立ち上げ。これはElements委員会（仮名）と渉外幹事で検討。

（4）その他

4.1 教科書（審議未了）